

# TZ 〈ほんの窓〉

第 32 号 (2013. 9. 9) 一橋大学附属図書館高本善四郎氏助成図書コーナー「本の紹介」班

## 第32回高本善四郎氏助成図書コーナー小展示 学生選書ツアーー選定図書展示 ーみんなに薦めたい本、選びましたー



2013年6月26日(水)、紀伊國屋書店新宿南店で学生選書ツアーを行いました。いつもの図書館の選書とは一味違う、一橋生が一橋生のために選んだお薦め本。是非手に取ってご覧ください。

■展示図書リスト(こちらで紹介している本は一部ですが、選ばれた本は、ブックログ(<http://booklog.jp/users/hit-lib>)でも紹介しています。)

- ☐『危機の二十年：理想と現実』 Carr Edward Hallett 1892-1982、岩波書店、2011.11 【0800:32:E/323】  
✍️選書者コメント：平和主義が何たるものかがわかる。
- ☐『時間の比較社会学』 真木 悠介、岩波書店、2003.8 【0800:85:G/108】  
✍️選書者コメント：現代人の時間の意識がどのように作られたかを、様々なものとの関係から理解することができる。
- ☐『現代の貧困：リベラリズムの日本社会論』 井上 達夫、岩波書店、2011.3 【0800:85:G/249】  
✍️選書者コメント：一見すると左派にありがちな日本国家・日本社会批判だが、井上の論理的強健性は尋常でない。
- ☐『哲学大図鑑』 Buckingham Will、三省堂、[2012.2] 【1000:396】  
✍️選書者コメント：様々な時代の哲学を、簡潔な文章と図を用いて、わかりやすく説明している。哲学の入門におすすり。
- ☐『わが息子よ、君はどう生きるか』 Chesterfield Philip Dormer Stanhope Earl of 1694-1773、三笠書房、[2005.11] 【1500:258】  
✍️選書者コメント：何のために勉強するのかともんもんしながら学ぶ大学生があふれている今、もう一度自分を見つめ直し、生きるための自分らしさを手に入れるきっかけとなる。
- ☐『1913：in search of the world before the Great War』 Emmerson Charles、PublicAffairs、c2013 【2090:492】  
✍️選書者コメント：第一次世界大戦勃発前年の世界の様子をさぐる歴史書。来年 2014 年は第一次世界大戦開戦から 100 周年の年。その意味でも注目の書。
- ☐『特攻隊員の手記を読む』 北影 雄幸、勉誠出版、2012.7 【2107:732】  
✍️選書者コメント：戦時下という過酷な環境下においても、理性を必死に保ち、学問を求めた学生特攻隊員たちに頭が下がる。
- ☐『2030 年世界はこう変わる：アメリカ情報機関が分析した「17 年後の未来」』 National Intelligence Council、講談社、2013.4 【3000:1549】  
✍️選書者コメント：将来予想に興味がある。
- ☐『北京烈日：中国で考えた国家ビジョン 2050』 丹羽 宇一郎、文藝春秋、2013.5 【3000:1550】  
✍️選書者コメント：中国を本当に知っている人の「中国論」(元中国大使)。
- ☐『過去と未来の間：政治思想への 8 試論』 Arendt Hannah 1906-1975、みすず書房、1994.9 【3000:623】  
✍️選書者コメント：ハンナ・アーレントの気迫が行間から伝わってくる。
- ☐『政党支配の終焉：カリスマなき指導者の時代』 Calise Mauro 1951-、法政大学出版局、2012.6 【3120:1380】  
✍️選書者コメント：ベルルスコーニの政治を通じて民主主義について考えるこの本のテーマは、日本政治とも関連していると思う。

- 📖『コミュニティデザイン：人がつながるしくみをつくる』山崎 亮、学芸出版社、2011.5 【3180:942】  
✍️選書者コメント：日本を全体で見ると明らかに落ち込んでいる今、地域を盛り上げることも必要。それを感じてもらおう。また、盛り上げるためには様々な分野で勉強が必要であると感じてもらおう。
- 📖『日米中トライアングル：3カ国協調への道』王 緝思、岩波書店、2010.11 【3190:2395】  
✍️選書者コメント：なかなかない視点なので。
- 📖『平和の代償』永井 陽之助、中央公論新社、2012.8 【3190:2700】  
✍️選書者コメント：永井陽之助の論壇デビュー作「米国の戦争観と毛沢東の挑戦」(1965年)をはじめ、秀逸な評論が並ぶ。
- 📖『対中戦略：無益な戦争を回避するために』近藤 大介、講談社、2013.4 【3190:2701】  
✍️選書者コメント：外国人が考えたと思えない「中国論」。日本の対中戦略を考え直そう。
- 📖『「中国模式(もしき)」の衝撃：チャイニーズ・スタンダードを読み解く』近藤 大介、平凡社、2012.1 【3322:906】  
✍️選書者コメント：中国人が読んで笑う中国の現実。スローガンだらけの本より百倍価値が高い。
- 📖『東アジア歴史教科書問題の構図：日本・中国・台湾・韓国、および在日朝鮮人学校』菊池 一隆、法律文化社、2013.6 【3700:4320】  
✍️選書者コメント：知っておくべき話題。
- 📖『世界はひとつの教室：「学び×テクノロジー」が起こすイノベーション』Khan Salman、ダイヤモンド社、2013.5 【3700:4322】  
✍️選書者コメント：名高い社会起業家カーン氏の著書。就社以外の道を考えさせるヒントが潜んでいる。
- 📖『食のイタリア文化史』Capatti Alberto、岩波書店、2011.2 【3800:1484】  
✍️選書者コメント：食の文化史における名著の邦訳。地中海文化の多様性と普遍性を考える上でも興味深い。
- 📖『恋人選びの心：性淘汰と人間性の進化』Miller Geoffrey 1965-、岩波書店、2002.7 【4600:638:2】  
✍️選書者コメント：モテない一橋生のために。
- 📖『グリッド都市：スペイン植民都市の起源、形成、変容、転生』布野 修司、京都大学学術出版会、2013.2 【5100:1943】  
✍️選書者コメント：イベリア半島・南米から東南アジアまで版図を広げたスペイン帝国が残した遺産、植民都市を類型化し、その変容を探るといった視点が面白い。
- 📖『価格の心理学：なぜ、カフェのコーヒーは「高い」と思わないのか?』Caldwell Leigh、日本実業出版社、2013.2 【6750:909】  
✍️選書者コメント：何事も学ぶにおいて、とっかかりは身近に意識できることから。そこから派生して全体を見渡す学問に没頭できると考えます。
- 📖『スーパーゴッズ：アメリカン・コミックスの超神(ちょうじん)たち』Morrison Grant 1960-、小学館集英社プロダクション、2013.3 【7200:843】  
✍️選書者コメント：“正義”の国のヒーロー像にせまる。
- 📖『True feelings：爪痕の真情。：2011.3.12~2012.3.11』初沢 亜利、三栄書房、2012.4 【7400:214】  
✍️選書者コメント：東日本大震災の写真集。百聞は一見に如かず。
- 📖『舞踏(BUTOH)大全：暗黒と光の王国』原田 広美、現代書館、2004.9 【7600:561】  
✍️選書者コメント：なぜ人は裸になってまで、白塗りになってまで身体表現をするのか。
- 📖『芸術の売り方』Bernstein Joanne Scheff 1945-、英治出版、2007.9 【7600:950】  
✍️選書者コメント：今後、国際経済の発展に関し、芸術という分野が力を持つと考えているため、商学部、経済学部はじめ多くの人に読んで欲しい。
- 📖『福田恆存思想の「かたち」：イロニー・演戯・言葉』浜崎 洋介、新曜社、2011.11 【9100:2375】  
✍️選書者コメント：最も詳細かつ統一的な福田恆存論。
- 📖『Exercices de style』Queneau Raymond 1903-1976、Gallimard、2007、c1947 【9500:632】  
✍️選書者コメント：フランス語の教科書にして、言語による実験の書。

選書者による 知的書評合戦ビブリオバトル も開催を企画中です。  
詳細は図書館ウェブサイト  
(<http://www.lib.hit-u.ac.jp/pr/reading/gakuseisensho>)  
にてご案内します。どうぞお楽しみに！

